

2016年8月号

8月15日(月)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 239



緑萌える盛夏…

ヨシの葉が鬱蒼と生い茂り、緑がまぶしい季節となりました。温根内に短い夏がやってきました。

コヨシキリは子育て中だったのか、ヨシの隙間からしきりにこちらを警戒していました。春には賑わいを見せていた野鳥たちのさえずりも静かになり、夏の訪れとともに秋へと向かう温根内を実感しつつあるこの頃です。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の植物・昆虫～



【サワギキョウ】
キキョウ科 沢桔梗
湿原の貴婦人とも言われ、盛夏を代表する花です。雄しべから花粉を出した後、同じところから雌しべの柱頭が出てきます。



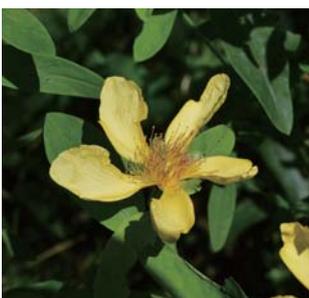
【エゾイヌゴマ】
シソ科 蝦夷犬胡麻
実がゴマに似ているものの、役に立たないという意味でイヌゴマと名づけられました。花の下唇部分の濃淡模様が見事です。



【ミツバフウロ】
フウロソウ科 三葉風露
ビジターセンター周辺や鶴居軌道跡で可憐に咲いているのが見られます。よく見ると、周りに同じフウロソウの仲間も咲いています。



【ツリフネソウ】
ツリフネソウ科 釣舟草
蜜を蓄えた「距」と呼ばれる部分が渦を巻いているのが特徴です。同じ種類のキツリフネも咲いているので探してみてください。



【トモエソウ】
オトギリソウ科 巴草
スクリューのような変わった形の花びらが特徴です。花が咲くと2～3日ですぐにしおれてしまい、観察できる機会が少ない花です。



【オオヒカゲ】
タテハチョウ科 大日陰
ヨシ湿原やビジターセンターの周辺をヒラヒラと優雅に舞っている大型の蝶です。裏の翅には黒い斑点模様が見られます。

○表紙の写真 上: エゾノヨロイグサとヨシ湿原 中右: ハンゴンソウとタテハチョウの仲間 中左: ココシキリ 下: モウセンゴケ

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

木道周辺では鳥たちの子育てが始まり、きれいなさえずりの声を聞く機会が減り、野鳥を見つけることが難しくなりました。それでもよく探すと、今年生まれた夏鳥の幼鳥が立派に成長し、秋の長い渡りに備えて虫を捕らえ、栄養を蓄える姿を見ることができます。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸し出しています。お気軽にご利用ください。



【オオジュリン（幼鳥）】
夏鳥 ホオジロ科 大寿林
オオジュリンの幼鳥は雌の成鳥とよく似ています。まだ幼い声で親鳥に餌をねだり、ついていく姿が見られます。



【マガモ】 夏鳥
カモ科 真鴨
釧路湿原周辺でも繁殖し、冬になると温根内から旅立っていきます。普段は近づくと飛び立ってしまいましたが、スイスイと水面を泳いでいました。



【コゲラ】 留鳥
キツキ科 小啄木鳥
ハンノキ林で夢中になって餌を探しているコゲラが見られました。「ギー」と鳴きながら隣の木へと移っていきました。



【ハシブトガラ】 留鳥
シジュウカラ科 嘴太雀
今は同じカラ類などと混群を作り始めました。混群を作るのは、餌を効率よく探したり危険を回避したりするためと言われています。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（7月15日～8月14日）※和名は五十音順

アカネムグラ■アキカラマツ■アキノウナギツカミ■イケマ■イチゲフウロ■イヌタデ■イワアカバナ■ウツボグサ■ウド■ウマノミツバ■エソイチゴ（木本）■エソイヌゴマ■エソイラクサ■エソオオヤマハコベ■エソシロネ■エソトリカブト■エソナミキ■エソノコギリソウ■エソノシモツケソウ■エソノヨロイグサ■エソノレンリソウ■エゾムグラ■オオウバユリ■オオダイコンソウ■オオバコ■オオハナウド■オオバナヤエムグラ■オオヤマサギソウ■オトギリソウ■オニノヤガラ■カキツバタ■カタバミ■ガマ■カラフトノダイオウ■キオン■キツネノボタン■キツリフネ■キンミズヒキ■クサフジ■クサレダマ■クロバナロウゲ■コウゾリナ■ゴキツル■コクワ（サルナシ・木本）■コタヌキモ■コメツブツメクサ■サギスゲ（綿毛）■サラシナショウマ■サウギキョウ■シオガマグク■シコタンキンポウゲ■シナノキ（木本）■シロツメクサ■セイヨウタンポポ■セリ■タチギボウシ■タヌキモ■チシマアザミ■ツリガネニンジン■ツリフネソウ■トウヌマゼリ■トキソウ■ドクゼリ■トモエソウ■ナガボノシロワレモコウ■ノブキ■バイケイソウ■ハンゴンソウ■ヒメカイウ■ヒメジョオン■ヒヨドリバナ■ヒロハヒルガオ■ヘラバヒメジョオン■ホザキシモツケ（木本）■ホソバアカバナ■ホソバイラクサ■ホソバナヨツバムグラ■ミズ■ミズオトギリ■ミゾソバ■ミツバフウロ■ミツモトソウ■ミヤマトウバナ■ミミコウモリ■ムラサキツメクサ■メマツヨイグサ■モウセンゴケ■ヤブジラミ■ヤブマメ■ヤマニガナ■ヤマハギ（木本）■ヤマハハコ■ヨブスマソウ■ウタスゲ（綿毛）

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（7月15日～8月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順

■マガモ■キジバト■アオバト■オオヨシゴイ■アオサギ■タンチョウ■クイナ■ツツドリ■カッコウ■オジロワシ■トビ■アリスイ■コゲラ■アカゲラ■チゴハヤブサ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒヨドリ■ウグイス■エゾムシクイ■センダイムシクイ■マキノセンニユウ■シマセンニユウ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■ノゴマ■ノビタキ■コサメビタキ■キビタキ■オオルリ■ハクセキレイ■ビンズイ■ベニマシコ■アオジ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺に咲いている花を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

～温根内ビジターセンターは仮設での運営となっております～

ビジターセンターは現在、建替え工事中のため、トイレも含め仮設で運営しております。新しいビジターセンターは来年の春、オープン予定です。それまでご不便をおかけいたしますが、ご了承ください。

☆☆☆自然ふれあい行事が開催されました☆☆☆



○「ホタルウィーク」7月29日（金）～31日（日）
 参加者数：66名（3日間合計） 講師：杉山伸一 若山公一
 今年もハイケボタルの観察会を行いました。3日間の日程で行われ、最初にホタルのレクチャーを受けてから野外で観察しました。日中は気温が低く、少し不安でしたが3日間とも順調に出現してくれました。夏休みを利用した子連れの参加者からは特に大きな歓声が上がり、ホタル観賞を楽しめた様子でした。



○「夏の湿原花ハイク」8月7日（日） 参加者数：13名
 植物の専門家の高嶋八千代氏を講師に、盛夏の湿原ハイクを行いました。サワギキョウの花の雄性期～雌性期の仕組みや、カラフトノダイオウと類似のタデ科の植物との見分け方など、個々の植物の特徴だけにとどまらず、湿根内周辺の植生分布の変化など、湿原を俯瞰する視点も教えていただきました。これから秋に向かう湿原を参加者の皆さんも堪能していました。

☆☆☆☆☆温根内イベントカレンダー（9月）☆☆☆☆☆

9月11日の観察会は申し込みが必要です⇒☎0154-65-2323

※無料ガイドウォーク（無料GW）は申し込み不要です。直接お越しください。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 無料GW
4 無料GW	5	6 休館日	7	8	9	10 無料GW
11 秋の湿原花ハイク	12	13 休館日	14	15	16	17 無料GW
18 無料GW	19 無料GW	20 休館日	21	22 無料GW	23	24 無料GW
25 無料GW	26	27 休館日	28	29	30	

♪秋の湿原花ハイク：10：00～12：00（定員15名）

♪無料GW：10時～、14時～（1日2回開催、定員10名、申込不要、定員になり次第締め切り）

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎015-487-3003

♪バードカービング初心者講座 1回目

〔日時〕9月4日（日）10：00～15：00 〔定員〕10名

〔参加費〕5,500円

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～スズメバチにご注意を！～



8月から9月はスズメバチが活発に活動する時期です。木道を歩く際には黒い服装をできるだけ避け、匂いの強い香水も控えるようお願いいたします。

月刊 温根内通信 No. 239

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@hokkai.or.jp

ホームページ：http://city.hokkai.or.jp/~kk946/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：10：00～17：00（11月～3月は16：00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料